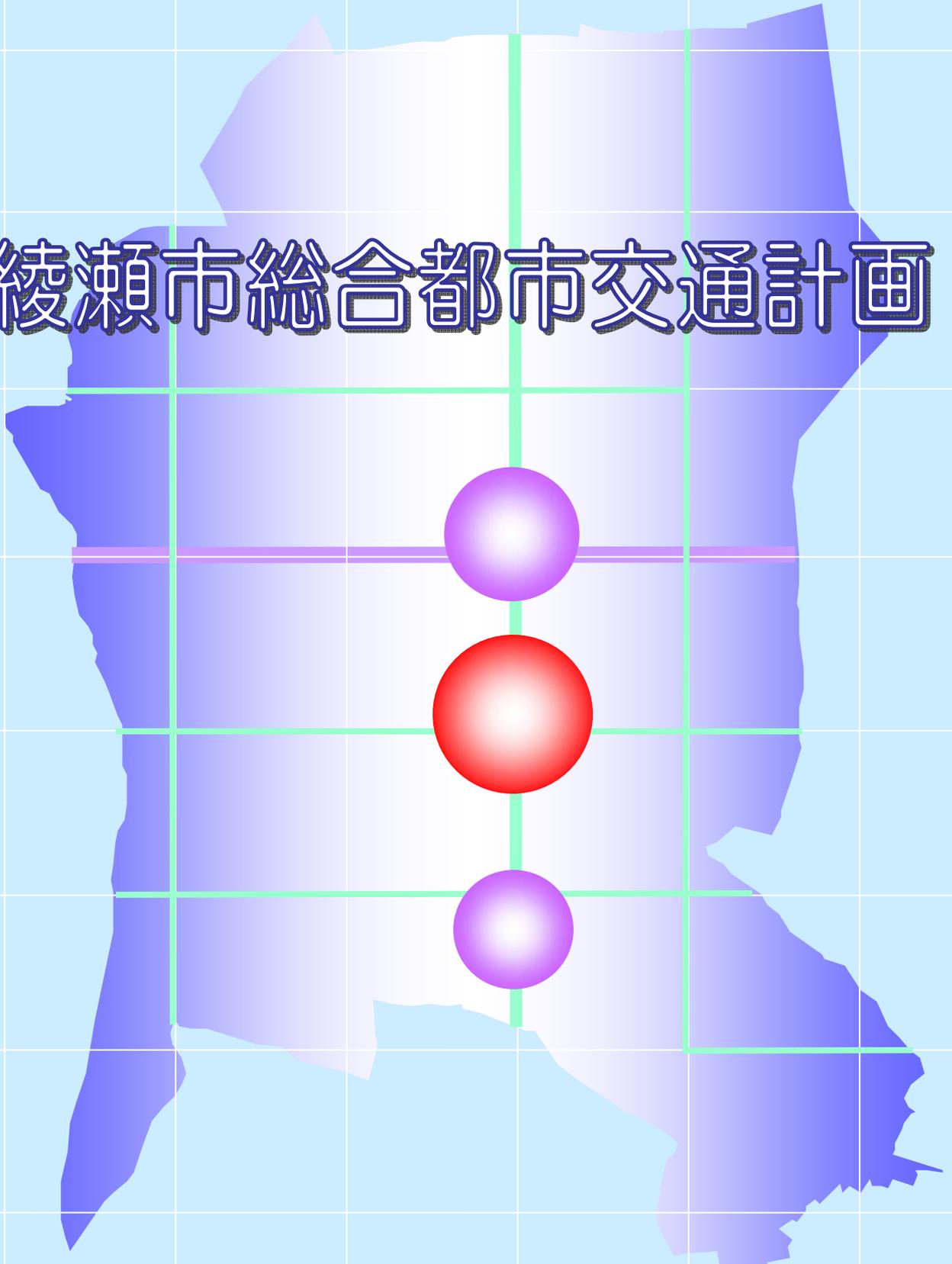




綾瀬市総合都市交通計画



平成22年12月改定
綾 瀬 市



はじめに

将来のまちづくりを見据えた交通需要に対応し、望ましい交通体系の確立に向けた交通施策の基本的な方向を示すため、綾瀬市では、平成7年3月に「綾瀬市新総合都市交通計画」を策定し、総合的な交通ネットワークの形成に取り組んでまいりました。

近年、少子高齢化の進行、社会経済の低迷、地球温暖化問題、さらには地方分権による地方政府への移行など、時代が大きく転換しています。また、幹線道路事業関連においても、寺尾上土棚線、横浜伊勢原線の4車線供用やさがみ縦貫道路海老名インターチェンジの供用に加え、東名高速道路へのインターチェンジの具体化など、綾瀬市を取り巻く交通環境も大きく変化していることから、「あやせ都市マスタープラン」を交通施策の面から支える部門別計画として総合都市交通計画を改定いたしました。

本計画では、「人とまちに配慮した交通環境づくり」、「広域交通流動と生活交通を支える機能的な道路網づくり」、「市民の移動利便性向上に資する交通体系づくり」、「あやせのまちづくりを支える交通施策の推進」の4つを交通計画の目標に掲げ、時代のニーズに応じた交通施策を展開することとしています。

特に鉄道駅を持たない本市にとって、バスは市民の重要な交通手段であることから、バス交通ネットワークの再編成による効率化や乗り継ぎ機能の円滑化など、公共交通の利便性を高める環境整備を計画的に進める必要があると考えています。

子や孫たちに誇りを持って、安心して引き継いでいけるまちづくりを実現するためには、市民、事業者、市がまちの将来を共有するとともに、それぞれの果たすべき役割を認識し、知恵と力を合わせて取り組むことが重要です。今後、より一層市民の皆様が参加できるような環境をつくり、市民協働によるまちづくりを進めてまいりますので、御理解と御協力をお願いいたします。

最後に本計画の改定にあたり、貴重な御意見、御提案をお寄せいただきました市民の皆様、御協力いただきました総合都市交通計画審議会の委員の方々に心よりお礼申し上げます。

平成22年12月

綾瀬市長 笠間 城治郎